

『Mind Charging』

第 137 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 10 月 16 日

千原ジュニアの名言



あの頃、おもんなかったなあって言いたいっすね、やっぱり。
僕今 38 ですが、38 の頃はおもんなかったなあって
言えるようになりたいっすね。

『おもない』とは、関西弁で『おもしろくない』という意味です。“話芸のスペシャリスト”と呼ばれる千原ジュニアさんですから、もちろん“芸人として”という部分での面白さについて語っていると思いますが、テレビなどでも独特の目線から放たれる言葉の数々を考えると、芸人(仕事)だけでなく、人生について語っているようにも感じます。また、芸人として最大のライバルは自分自身であり、過去の自分よりもレベルアップしたいという強い“プロ意識”も感じます。

芸人さんなどのいわゆる『芸能人』という仕事は“人気”が全てと言っても過言ではない非常にシビアな世界だと思います。一般人であれば許されることも許されないケースが多々あります。特に現代のように SNS が普及したことによって今まで以上に誹謗中傷を受けて傷つくこともあると思います。そして何より、『人間』ですから気分が乗らないこともあるでしょう。それでもキャラクターを崩すことは許されないわけですから非常に忍耐力も必要な職種であると思います。

今回の言葉は千原ジュニアさんが 38 歳当時の言葉ということですが、きっと現在はこの言葉通りに当時を振り返ることができていることでしょう。そして今後も様々なメディアを通じて私たちを楽しませてくれるはずですよ。芸能人であろうが、学生であろうが、社会人であろうが、自分の人生を充実させるために一番頑張るのは間違いなく自分自身です。正智深谷を卒業後、しばらく経ってから『当時の頑張りのおかげで今がある！』と、その時の自分に自信を持って振り返られたらとても幸せですね。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

千原 ジュニア(ちはら ジュニア、1974 年(昭和 49 年)3 月 30 日 -)は日本のお笑いタレント、司会者。お笑いコンビ千原兄弟のボケを担当。相方は実兄の千原せいじ。本名および旧芸名は千原 浩史(ちはら こうじ)。京都府福知山市出身。吉本興業所属。京都共栄学園中学校卒業。京都共栄学園高等学校中退。NSC の 8 期生であるが、卒業には至っていない。

(Wikipedia 参照)